

史跡等・重要文化的景観マネジメント支援事業報告書（平成 27 年 3 月 文化庁文化財部記念物課）における史跡等整備基本計画の標準構成を参考に、史跡松江城整備基本計画の目次構成を以下に示す。

注）※印は「史跡松江城保存活用計画」に当該の記載があるもので、年次更新等の適切な修正を行ったうえで引用する。

◎印は、既往の調査報告や修理報告等を踏まえつつ、近年の情勢を加味して整備計画として位置づける。

▲印は、総合的な現況調査が必要な項目。

章	節	タイトル	内容	章	節	タイトル	内容
1	史跡松江城整備基本計画策定の経緯と目的			6	整備基本計画		
	1	計画策定の経緯	・計画の策定の背景・経緯 ・保存活用計画との関係		1	全体計画及び地区区分計画	・全体計画と地区区分（ゾーニング）計画の整合 ・各地区の特性に応じた整備の方針（※）
	2	計画の目的と期間	・計画の目的 ・計画の期間		2	整備計画	
	3	委員会の設置	・委員会の構成、審議経過の概要			（1）遺構保存計画	・地上、地下遺構の特性に応じた保存整備手法等
	4	関連計画との関係	・総合計画等の上位計画との関係（※）			（2）石垣修理計画	・優先度を踏まえた石垣修理計画（※）（◎）
2	史跡松江城を取り巻く環境					（3）建物修復・復元計画	・復元建物（櫓）の修復計画 ・大手門の復元計画
	1	自然的環境	・史跡の位置と立地、気象、地形・地質、植生、動物等（※）			（4）園路整備計画（▲）	・見学者の安全かつ快適な動線を確認するための園路整備計画
	2	歴史的環境	・地域の歴史的文脈における史跡の位置付け（※） ・周辺地域における関連の文化財等（※）			（5）排水設備計画	・二之丸から内堀への排水等、優先度が高い課題への対応方向
	3	社会的環境	・史跡周辺（城下）の人口、産業、交通、観光資源、土地所有及び土地利用、関連する法規制（土地利用制限）（※）			（6）遺構表現計画	・先端技術を含む、より効果的な遺構表現の手法に係る対応方向
3	史跡松江城の概要					（7）修景・植栽計画	・園路沿い危険木・石垣支障木の伐採等の樹木管理計画（◎） ・視点場からの眺望確保のための樹木整理計画（◎） ・本丸サクラ植栽計画（◎）
	1	史跡等指定の状況	・史跡等の本質的価値に関わる指定理由（※）、追加指定状況			（8）サイン計画（▲）	・最新の調査成果を反映させた解説施設の計画 ・統一的なサイン計画
	2	史跡松江城の調査と整備の概要	・発掘調査、史料調査等の調査成果（※） ・史跡整備の現状（※）			（9）管理・便益施設計画	・管理・便益施設の現状を踏まえ、必要に応じて本計画に位置づけ
	3	史跡松江城の本質的価値と構成要素	・調査成果に基づく史跡等の本質的価値とその構成要素（※）			（10）公開活用施設計画	・公開活用施設の現状を踏まえ、必要に応じて本計画に位置づけ
4	史跡松江城の現状と課題					（11）周辺環境保全計画	・周辺環境保全の現状を踏まえ、必要に応じて本計画に位置づけ
	1	史跡等の公開活用の状況	・現状における公開活用とその利用状況と課題（※）			（12）地域関連文化財等整備活用計画	・地域関連文化財等の整備活用の現状を踏まえ、必要に応じて本計画に位置づけ
	2	地区区分	・保存活用計画で定めた地区区分（※）			（13）整備関連調査計画	・整備関連調査が必要な事項があれば、本計画に位置づけ
	3	地区ごとの現状と課題	・各地区における史跡の構成要素と整備の現状と課題（※）			（14）公開活用計画	・公開活用の現状を踏まえ、必要に応じて本計画に位置づけ
	4	地域に所在する文化資源との関連	・地域に所在する文化的資源と当該事業との関連			（15）管理運営計画	・管理運営面の見直し等が必要であれば、本計画に位置づけ
5	整備計画の基本理念と基本方針			7	事業計画		
	1	整備の基本理念	・史跡の本質的価値の保存と顕在化等に係る基本的な考え方		1	事業推進体制	・各事業の推進主体、連携体制
	2	整備の基本方針	・基本理念を踏まえた整備目標、整備方針等（※）		2	事業スケジュール	・各事業の内容・期間・工程等
				3	完成予想図	・事業完成後のイメージパース	